



講演会

The Rise of New Future Technology

医療・福祉のデジタル最前線



講師

宮本 隆史 氏

社会福祉法人 善光会 理事 最高執行責任者
統括施設局長 特別養護老人ホームフローズ東糀谷施設長



講師プロフィール

社会福祉法人善光会入社後、現場の介護職やマネジメント業務に従事し、グループホームや新規特別養護老人ホームの立ち上げを経て、現職である理事として勤務。2009年ごろより介護ロボットの導入やサイバーダインのHALの監修に関わり、2013年に法人内で「介護ロボット研究室」を設置、2017年には施設運営や介護ロボット等の知見を提供するため「サンタフェ総合研究所」を設立。介護ロボット機器のプラットフォーム「SCOP」や介護ロボット機器運用資格「スマート介護士」事業などを創設。2021年に第5回日本医療研究開発大賞AMED理事長賞を受賞。関係省庁や関連団体の委員や、各方面でのセミナー・講演等幅広い活動を行っている。

[講演会場]

亀田交流プラザ

〒041-0806 函館市美原1丁目26-12



organized by

西野学園同窓会

道南支部

後援：函館市、函館市教育委員会
函館市社会福祉協議会

YouTube

一般参加

無料

申込不要
[先着70名]



YouTube LIVEリアルタイム配信も開催
<https://sites.google.com/nishino-g.ac.jp/seiougai20220903/>

医療・福祉のデジタル最前線



講師

宮本 隆史 氏

社会福祉法人 善光会 理事 最高執行責任者
統括施設局長 特別養護老人ホームフローズ東糀谷施設長



講演概要

令和3年度の介護報酬改定の中で「介護人材の確保・介護現場の革新」のテーマが訴求され、ICTを活用した介護現場の生産性向上が求められており、AI搭載のロボットによる見守り支援や、高齢者の睡眠の深さやトイレのタイミングをセンサーが自動で検知し職員へ知らせるといったような技術が介護現場にも導入され始め、高齢化で介護現場の人手不足が深刻化する中、業務の効率化などを目的に国も推進する「デジタル介護」が話題となっております。介護分野に関する内容について、医療に携わる方々にもこれからのデジタル介護について、知識を深め、効果的に活用していくためにはどうすべきか、ポイントをご紹介します。

【ご略歴】

- 2009年 介護ロボット、テクノロジーの導入開始。生産性向上を進めるPJ実行
- 2013年 社会福祉法人善光会内に「介護ロボット研究室」を設置
- 2016年 介護施設での人工知能活用を目指し、「介護ロボット・人工知能研究室」に機能を拡張。
- 2017年 施設運営や介護ロボット等の知見を提供するため「サンタフェ総合研究所」を設立。
介護ロボット運用の専門資格である「スマート介護士」を創設。
- 2018年 AMED事業を採択、スマート介護プラットフォームの開発に着手。
- 2020年 厚労省より「リビングラボ指定」(Care Tech ZENKOUKAI Lab)
- 2021年 内閣官房より第5回日本医療研究開発大賞AMED理事長賞を受賞

【これまでの主な会議参加】

- ・内閣府諮問会議「規制改革推進会議」医療・介護ワーキンググループでの政策提言
- ・首相官邸 未来投資会議 構造改革徹底推進会合「健康・医療・介護」会合での政策提言
- ・総務省IoTサービス創出支援事業への参加「標準的な医療介護データ利活用推進委員会」
- ・自民党「財政再建特命委員会財政構造のあり方検討小委員会」等に参加し介護・福祉に関する政策提言

■ 会場アクセス

亀田交流プラザ

〒041-0806 函館市美原1丁目26-12

- バスをご利用の方
函館バス「亀田支所前」下車
- 自動車でお越しの方
110台分の駐車場
2時間まで無料



※ 感染症予防対策のため、ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒、検温のご協力をお願いします。

■ お問い合わせ先

西野学園同窓会



E-mail: nishino-dsk@nishino-g.ac.jp